

ベルギー留学日記 ①

プチポワ読者の皆様、初めまして。私は兵庫県、神戸大学から1年間の交換留学生としてベルギーに来ました。ベルギーに来たのは去年の9月で今年の7月まで留学しているのですが、今月号から、日本の大学とベルギーの大学の違いや、ベルギーでの生活などを記事にしていこうと思います。できるだけ面白くなるように頑張りますが、こういうかたちで文章を書くのは初めてのことなので、温かい目で読んでください(笑)。

早速、今回、第1回目は大学の違いについて書こうと思います。私はブリュッセルから電車で30分ほどのゲントにあるゲント大学で勉強しているのですが、なんといっても授業時間が長いんです。長すぎます(笑)。神戸大学では1コマ90分だったのが、ゲント大学では短くても3時間、長いものでは4時間半も授業があります。神戸での授業はだいたい教授がずっと喋って、特に学生から授業への参加は求められないのですが、3時間も授業があると教授もずっと喋っていると疲れるんだと思います。なので、だいたいグループワークというかたちでディスカッションやプレゼンが授業中にあります。例えば私が取っていた授業の1つにInternational Business Classというのがあるのですが、そこでは1時間から1時間半ぐらいがプレゼンやディスカッションの時間に使われます。また授業を受けている生徒も30人ほどで日本に比べてかなり少なく、グループワークなどで学生同士の関わりも多いので、自然とクラス全体が仲良くなります。授業は英語で受けており、私はそこまで英語が得意な方ではないのですが、みんなが友だちみたいな空気で授業が行われてるので、発言もあまり気兼ねすることなくできて、かなり楽しいです。ただ、日本で数えるぐらいしかプレゼンなんてしたことない私にとっては、たまにとてつもなく授業に行きたくない日もありました(笑)。

また、もう1つ授業に関してびっくりしたことがあります。授業中にほとんどの学生が何か食べています。日本だとガムやチョコレートぐらいなのですが、そんな程度ではありません。ゲントでは、授業中に食べるものは圧倒的にバナナ

が多いです。それに続いてりんごとみかんです。バナナ、りんごはいいのですが、誰かがみかんを食べると教室にみかんのおいが充満するので、みかんはやめてほしいと思うこともあります(笑)。また、誰かしらがかばんにバナナを入れたまま席について、そのかばんにもたれてバナナをつぶすハプニングもよく起こります。こういった果物ハプニングは日本の大学では絶対に見ることのできない光景ですね。そもそも、神戸大学では授業中に何か食べるのは禁止でした。それにも、ベルギーに来た最初のころはびっくりしていましたが、もう半年近くもいると、郷に入っては郷に従えということで、慣れて私も教室で果物を食べるようになりました。授業についてはこういった感じです。

最後に、つい先日終わったばかりのテストについて書いてみたいと思います。まず、ゲント大学では単位を取るために20点満点中10点以上の評価を取ればいいのですが、その評価基準がいろいろあります。神戸大学ではほとんどが期末テストだけで、たまに出席点があるのですが、ゲントでは期末テストに加え、グループワークへの参加の度合い、プレゼン、レポートなどの課題といったように、評価基準が分かれています。そして、テスト期間がこれまた長いんです。12月の中旬に授業が終わり、そこから冬休み、そして1月がまるまるテスト期間になります。その期間中は、ほとんど家から出ることなく勉強ばかりしていました。私は大学の寮に住んでいるのですが、テスト期間になると、共有スペースが自習室となり私語、携帯が厳禁になり、みんな自分の部屋や自習室にこもって勉強しているので、人との関わりがほとんど絶たれます。つらいです。そして、実際のテストも自分の意見を聞かれるような問題が多く、神戸大学のテストに比べ大変なものでした。テストが終わるといつも疲れ切りました。そんな、テストも終わり、先日はイタリアに旅行に行ってきました。



ということで、今回はベルギーと日本の大学について授業やテストなどの違いについて書いてきましたが、いかがだったでしょう。ゲント大学は神戸大学に比べ授業やテストもハードですが、その分、学生同士や学生と教授のかかわりも多く、授業の雰囲気は楽しいものが多いです。次回は、ゲント大学の留学生の、大学外での日常生活の様子などについて書いてみようと思います。最後まで読んでくださった方、ありがとうございました。次回もよろしくお願いします。

ゲント大学経済・経営学部留学生 岸本雅史

